

平成30年度 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）

山形県立酒田西高等学校

校是「裕かに 聴く 逞しく」

[1] 教育目標

- 1 感性豊かで思いやりのある人間を育成する。
- 2 創造力と知性に富む人間を育成する。
- 3 逞しく主体的に行動できる人間を育成する。

[2] 目指す学校像

- 1 生徒一人ひとりが礼儀正しく他者を思いやる行動をする学校。
- 2 生徒一人ひとりが自立した学習者となり主体的に学び合う学校。
- 3 生徒一人ひとりが文武両道を追求する学校。
- 4 特色ある教育活動を展開する学校。
- 5 生徒一人ひとりの進路希望を実現させる学校。
- 6 広い視野を持ち社会に貢献する学校。

[3] 本年度の重点目標

- 1 高い志の形成などにより学習意欲を喚起し、学力向上につなげる取組。
- 2 基本的生活習慣の確立と、主体的に実践し続ける力の育成。
- 3 キャリア教育の推進と進路指導の充実。
- 4 心身の健康推進と安全安心な学校生活の実現。
- 5 開かれた学校づくりの推進。
- 6 学級減1年目における課題等の洗い出しと対応。

A：達成 B：概ね達成 C：やや不十分 D：不十分

重点目標	具体的方策	自己評価		学校関係者評価
		評価	成果（○）と課題（＊）	意見・要望・評価等
高い志の形成などにより学習意欲を喚起し、学力向上につながる取組	①生徒の学力状況・到達目標を踏まえ、指導と評価の一体化が図られた授業や学習活動の充実。	B	○探究学習による進路意識の向上、進路の明確化が図られた。 ＊表現力・活用力を高めるため、ICTを用いた授業や探究型学習を推進。 ＊部活動の在り方について検討。 ＊学力向上対策と課題提示方法の検討。	探究活動によって、進路の明確化が図られてきている。 生徒が多様化してきている。学習習慣づくりの強化と目的意識を持たせる指導を。
	②表現力や活用力を重視した学習システムの推進。	C		
	③「裕かに（心を育てる）、聡く（思考力を鍛える）、逞しく（行動をうながす）」視点を取り入れた探究活動など自ら思考・行動する学習の実践。	B		
	④毎日の家庭学習を充実させるため、学習課題の精選や時間にメリハリある部活動の実施。	C		
基本的な生活習慣の確立と、主体的に実践し続ける力の育成	①自ら挨拶をする生徒の育成。	C	○自主的な行動、あいさつをする生徒が増えた。 ＊自ら考え行動できる生徒の育成。	地域でのボランティア活動など活躍している。さらに部活動やボランティア活動などを通して、コミュニケーション力の向上を。
	②清楚な装いと教室内外の整理整頓の徹底による学習環境の整備。	B		
	③自主的な生徒会活動、積極的な部活動や学校行事へのかかわりを通じた企画・実践力などの育成。	B		
キャリア教育の推進と進路指導の充実	①大学、企業等の外部教育資源を活用した「高い志」の涵養と進路意識の醸成。	B	○多様な進路に対して全職員による個別指導体制が構築され、進路実現の向上につながった。 ＊新入試制度の情報収集と対策の検討 ＊外部教育資源の活用の推進。	早期に進路目標を持たせること。また、進路実現のために家庭との連携が不可欠。保護者への情報提供、共有が重要。研修会などの参加者を増やす手立てを。
	②多様な進路希望、多様な入試制度に対応した組織的支援体制の充実。	B		
	③進路実現に至るプロセス等の生徒保護者への丁寧な説明と情報の共有。	B		
	④「高大接続改革」に伴う大学入試システム改革への対応の研究。	B		
心身の健康推進と安全安心な学校生活の実現	①不登校等メンタルの課題に対する理解と組織的な支援活動の充実。	A	○特別教育支援委員会が機能し、生徒への適切な支援につながった。 ＊いじめに対する更なる対応の迅速化。	生命を守るための危機管理について教育が必要。詐欺やSNSトラブル、いじめなどに巻き込まれないなど、警察や関係機関と協力を。
	②いじめ問題発覚時の迅速な対応、組織での情報共有や対応協議など、「抱えこまない」対応の実施。	B		
	③生命を守ることを最優先とする危機管理、健康管理体制の点検と充実。健康診断結果などを活用した、生徒の健康自己管理能力の育成。	B		
開かれた学校づくりの推進	①授業の公開や研究授業の推進、情報発信による開かれた学校づくりの推進。	B	○理科、芸術科の取り組みで地域の教育資源の活用がなされた。 ＊生徒と地域・外部団体との連携、活動の推進。	地域との連携が図られている。大学や外部団体とさらに連携し、情報発信を。
	②教育資源に着目した地域社会との連携、各校種との連携による多層的な教育活動の充実。	B		
学級減1年目における課題等の洗い出しと対応	①生徒数減による影響の分析と対応の検討。	B	＊業務の精選。 ＊クラス減のメリットを活かす取り組みの検討。	学校規模が縮小するが、教育活動が活性化するように頑張ってもらいたい。
	②職員の減少による影響の分析と校内組織の再検討。	C		